



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

2008年11月26日
MR/J51/08

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京都渋谷区神宮前 5-53-70

Tel.: +81-3-5467-1212
Fax: +81-3-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: <http://www.unu.edu/>

国連大学

「持続可能な開発のための教育の10年(DESDE)」国際フォーラムを共催

イベント: ESD 国際フォーラム 2008 ～持続発展教育(ESD) 中間年イベント～
会期: 2008年12月2日(火)～5日(金)
会場: 国連大学本部(渋谷区)、ウ・タント国際会議場、エリザベス・ローズ国際会議場
主催: 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、国連教育科学文化機関(ユネスコ)、財団法人ユネスコ・アジア文化センター
共催: 国連大学、宮城教育大学

- 2005年に開始された国連「持続可能な開発のための教育の10年(DESDE)」は、来年2009年に中間年を迎える。これまで、国際社会において、ESDの必要性、基本的概念及び目的について議論が重ねられ、その将来世代への重要性が認識されてきた。本フォーラムでは、中間年に向けて、ESDの主導機関であるユネスコや各加盟国が、これまでの成果と今後の課題について検討する。
- ESD 国際フォーラム 2008 では、これまでの ESD の定義や概念に関する議論から、DESDE の目標と国際実施計画 (IIS: International Implementation Scheme) を達成するための実践的で戦略的な取組を検討することに焦点を移し、議論を行う。ユネスコが立案した IIS は、DESDE に従事しているすべての関係機関が基準とする計画で、各国がどのように DESDE の目標を達成するかという点に焦点を当てるものである。
- 一方で、IIS に定められる取組や課題は、そのすべてを限られた資源の中で実施することは困難であり、この制約を踏まえ、DESDE の後半5年においては、多くの国において ESD の実践を促し、継続していくための原動力となる活動に焦点を絞って、取組むことが課題である。
- 本フォーラムでは、DESDE の後半に向けて成果をもたらす戦略的なプロジェクトを創出し、NGO や企業の活動も含めたより多くのパートナーシップ形成のための方策も議論する。またアジア・太平洋地域のこれまでの ESD への取組みを評価し、優良事例を共有するとともに、中間年に向けたとりまとめも行う。
- 国連大学のコンラッド・オスターヴァルダー学長は、本フォーラムの成果が「DESDE の中間年、2009年にドイツ・ボンで行われる世界 ESD 会議に取り入れられる」として、開催を支持している。
- 本フォーラムでの使用言語は日本語および英語。ほぼ全てのセッションで同時通訳あり。
- 詳細は右記、ご参照。<http://www.mext.go.jp/unesco/001/2008/08100303.htm> または、担当者までご連絡ください。国連大学高等研究所 担当: 秋元波 (電話 : 045-221-2334、Eメール: akimoto@ias.unu.edu)
- 一般の方の参加申し込みはすでに終了させていただきましたが、報道関係者のお申込みは、受け付けています。取材ご希望の方は、12月1日(月)午後5時までに、以下担当者までご連絡ください。
文部科学省 担当: 徳留 (電話 : 03-6734-3402、Fax: 03-6734-3679、Eメール: jpnatcom@mext.go.jp)

MEDIA ADVISORY

国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として1975年に設立された、本部(東京)を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。